

6 0 1 1 - 6 1 4 6

令和 7 年 3 月 31 日

各関係機関の長
各病虫害防除員 殿

宮崎県病虫害防除・肥料検査センター所長

令和 6 年度病虫害発生予察特殊報第 2 号について

令和 6 年度病虫害発生予察特殊報第 2 号を発表したので送付します。

令和 6 年度病虫害発生予察特殊報第 2 号

1 病虫害名 : *Palpifer hopponis* (Matsumura, 1931)
(コウモリガ科の一種)

2 作物名 : サトイモ

3 発生確認の経過

令和 6 年 (2024 年) 2 月、県西部の令和 5 年産サトイモ (赤芽) において、一部の塊茎部に黄褐色のイモムシ型の幼虫の寄生が確認された (図 1、2)。本虫を飼育したところ、約 3 ヶ月後に塊茎表面に蛹殻と茶褐色のガの成虫が確認された (図 3、4)。

農林水産省門司植物防疫所および元 北九州市立自然史・歴史博物館 学芸員 上田 恭一郎氏に本虫の同定を依頼した結果、国内未発生のコウモリガ科の一種 (*Palpifer hopponis*) であることが判明した。

なお、令和 6 年産サトイモにおいては、発生は認められなかった。

4 国内外の発生状況

国外では台湾での発生が確認されているが、日本国内での発生は確認されていない。

5 本種の特徴

(1) 寄主植物

サトイモ (塊茎部)

(2) 形態

成虫は開長^{※1}が雄 22~24mm、雌 26~38mm (図 5、6)。頭部、胸部は茶褐色の長毛に覆われる。前翅後翅ともに地色は暗褐色で、前翅は細長く小毛に覆われ、前翅の中室基部に顕著な白斑がみられる。

※1 翅を左右に広げたときの両方の翅の先端から先端までの長さ。

6 防除対策

(1) 現在、本虫に対する登録農薬はないため、見つけ次第捕殺する。

(2) 本虫の発生が疑われる場合は、総合農業試験場病虫害防除・肥料検査課 (病虫害防除・肥料検査センター) に連絡する。



図1 サトイモ塊茎部で確認された幼虫



図2 幼虫上面



図3 羽化後の蛹殻



図4 羽化した成虫



図5※² 雄成虫



図6※² 雌成虫

※2 図5～6は農林水産省門司植物防疫所より提供。

《連絡先》

宮崎県総合農業試験場 病害虫防除・肥料検査課
(病害虫防除・肥料検査センター) 田爪・松浦

TEL : 0985-73-6670 FAX : 0985-73-2127

E-mail : byogaichu-hiryo@pref.miyazaki.lg.jp

HP : https://hinatamafin.pref.miyazaki.lg.jp/soshiki/noshi_byogai/index.html

